

Catch Ball

2019
February

2

Vol.868

CONTENTS 【特集】知ってる!? 元号よもやま話

- 青年部「新」部長に加藤雅樹さん ●振興局に福亀しめ飾り寄贈 …… 3
- 女性部、新米おにぎり 200 人に振る舞う ●第3回女性農業者向け講習会 …… 4
- フォトだより …… 5 ●青年部特集 vol.13 …… 6 ●理事会だより …… 7



入試験書用の収入証紙を購入した宮田夢叶（ゆめか）さんに「受験ガンバレグッズ」を贈る金融課・高田怜史職員



知
てる
!?



元号

よもやう話

監修／山本博文(東京大学史料編纂所教授) イラスト／信吉

「平成」もいよいよ終わり。次の元号への期待も高まるこの頃です。ところで元号っていつからある？ どうやって決めてきたの？ 日本人なら知っておきたい、元号を巡るミニ知識をご紹介します！

1 元号制度は

中国から伝わった



元号は紀元前115年ころ、前漢の武帝が自分の治世を「建元」と名付けたのが始まりです。日本へは西暦600年前後に中国のさまざまな文化や制度と共に伝わってきました。朝鮮半島やベトナムでも取り入れましたが、今も元号を使うのは日本だけです。



2 元号を使う前は

どうしていた？

元号導入以前の日本では、人々は年を言い表すには干支(えと)を使いました。でも干支は60年、十二支だけだと12年で巡ります。戊(いぬ)年といつても去年？ 13年前？ これは公文書など記すには不便。ただし庶民の間では江戸時代まで干支の方が一般的でした。

3 日本初の

元号は「大化」

元号は「大化」

日本で最初の元号は、中大兄皇子が蘇我入鹿を討った乙巳(いつし)の変の後、人心を一新するため、元号を「大化」とし、大化の改新が進められました。それ以降、平成まで247の元号が定められています。



4 期間が一番短い

元号は2カ月強！

江戸時代まで、元号は災害、遷都、戦乱、祥瑞(しやうざい)などさまざまな理由で改元されました。一番短いのは、2カ月14日間の「暦仁」、次は3カ月と15日間の「天平感宝」。最も長いのは天皇の即位から薨去(こうきよ)まで続いた「昭和」の62年13日間です。

牡羊座



いつもとちょっと違う行動がスパイスになって、日々の生活が活気づく予感。新しい趣味を持つのも良い刺激に

《モナ・カサンドラ》

2月

今月のあなたの運勢

2019. 2

1

5

使う文字は中国の古典から

平安時代以降の日本の元号は全て『書経』『易経』『文選』『後漢書』など中国の古典が出典元。「平成」は『史記』と『書経』にある文字です。江戸時代末期までは漢文の専門家である文章博士（もんじょうはかせ）が候補を出して天皇が承認、今は学識経験者の案を内閣で検討します。



6

鳥やカメ、温泉から名付けた元号

古代にはシンプルな元号もたくさんありました。「白雉（はくち）」は白いきじ、「靈龜」は不思議な模様のカメが献上されたのがきっかけ。「和銅」は秩父で発見された自然銅で、日本初の貨幣・和同開珎を造った年だから。また「養老」は天皇の行幸先で靈泉（温泉）が見つかったことから名付けられました。



7

2種類の元号を使った時代

同時に2人の天皇が並立した南北朝時代、元号も2種類ありました。1331年から1392年までのことです。南朝が「元弘」のときに北朝は「正徳（しょうぎよう）」、「弘和」のときは「永徳」という具合。内戦状態の国内で南北朝どちら側に付いていたかは、使った元号で明らかです。



ハレー彗星（すいせい）や大地震で改元！

平安時代の「天養」が、わずか1年4カ月強で「久安」になったのは、ハレー彗星が出現したからです。江戸時代の「元禄」は大地震や大火事が続いて「宝永」に。ところが3年後には富士山大噴火が起きてしまいました。



なぜ一世一元になった？

元号が一世一元（1人の天皇在位中は1元号）になったのは明治時代からです。以前のように頻繁に変えるのはやめるべきと考え、中国の明時代の制度を取り入れたのです。そのときから庶民にも元号が浸透。同時に導入された太陽暦（西暦）と両方を使うようになりました。



JA 青年部 第 70 回通常総会

新部長に加藤雅樹さん（前副部長）



新任のあいさつを述べる加藤新部長（左）と新役員

JAびばい青年部は1月10日、第70回通常総会をJA大会議室で開き新部長に加藤雅樹さん（北美唄）を選んだ。部員35名が出席した。

開会で米内彰吾部長は「美唄の食の安全・安心を守るため、青年部としてより一層団結力を高め、機動力に溢れた組織を目指しましょう」とあいさつを述べた。JAの岸定組合長は「将来のある若い方は、20年30年のスパンで自分の経営また人生を捉えてほしい。そのために将来に対するアンテナをしっかりと持つことと、その精度を上げてほしい」と期待を込めた。

加藤新部長は「新しいことに目を向け、皆さんの力を借りて事業運営を取り進めたい」と決意を述べた。

総会は全7議案を原案通り可決し閉会した。

部長以外の新役員は次の通り。

▼副部長 寺崎涼太郎（再・上美唄）、川田竜也（新・茶志内1）、土屋陽輔（新・進徳）▼委員 谷津和幸（新・北美唄）、小野幸光（新・沼の内）、藤原友和（新・沼の内）▼監事 長谷川敦史（再・沼の内）、金子堅太郎（新・上美唄）



今年も振興局に福亀しめ飾り寄贈

JAは12月19日、空知総合振興局を訪ね、佐々木誠也局長に美唄産おぼろぎのワラで作った「福亀」のしめ飾り4本を贈った。このしめ飾り寄贈は今回で11年目になる。

岸定組合長は「縁起物なので来年の豊穣に期待してもらえるとありがたい」と手渡した。佐々木局長は「作った方の思いが入っている。豊穣の秋を迎えられるよう折りながら飾りたい」と受取った。

しめ飾りは1月4日まで振興局口ビーなどに飾られた。



左からJA西川賢農業振興部長、岸組合長、佐々木局長、振興局大沼広行産業振興部長

獅子座



気分が変わりやすい時期です。気まぐれになり、対人面でもめないよう、ご用心。芸術鑑賞をすると開運効果が

蟹座



物事を悪い方向に受け取りやすい傾向あり。意識してプラスに捉えて。気晴らしには神社や仏閣巡りがお勧め

2019.2

3

JA女性部 収穫祭「おぼろづき 2018」

新米おにぎりなど 200 人前を振る舞う



詰めかけた大勢の来場者で賑わう大試食会（コアビバイ市民ふれあいサロン）

JAびばい女性部は12月12日、今年で22回目となる収穫祭「おぼろづき2018」を市内のコアビバイ市民ふれあいサロンで開き、美唄産新米「おぼろづき」のおにぎりなど200人分を来場者に振る舞った。

川田照子女性部長は「部員が丹精を込めた農産物、手芸品を揃えています。最後まで楽しんで下さい」とあいさつを述べた。JAの岸定組合長は「考えられる気象災害が経験出来た様な稀な年にも関わらず、恒例の収穫祭を開催していただける女性のパワーを何よりうれしく思う」と感謝を述べた。

収穫祭は出来秋の喜びを市民と一緒に祝い、地場農産物の素晴らしさと消費拡大を図ることを目指し1997年から続けている。メインは「美唄の農産物を食べよう」と題した試食会。新米のおにぎりの他に女性部加工部会の手作りみそを使った豚汁、部員自慢の漬け物11品を無料で配った。他にビンゴ大会、新米おぼろづきのすくい取りやタマネギの詰め放題が当たる抽選会などを行った。また会場では部員手作りのしめ飾りやエプロンなどの展示即売、またリース作り体験の出店もあり、大いに賑わった。

クミカンの

仕組みなどを学ぶ

JAは12月5日、女性組合員を対象にした今年3回目の「女性農業者向け講習会」をJAの中会議室で開き、9人が参加した。

開会で岸定組合長は「来年また将来の計画をご主人と語り合う糧になると期待します」とあいさつした。

初歩的な農業経営管理をテーマに営農計画書とクミカンの仕組みなどについて職員が講師を務めた。参加者からは「計画書をみるポイントを教えてほしい」「JAのモデル的世帯の計画内容を資料としてほしい」などの質問や意見が出された。



営農計画書について説明する企画相談課・鳥井達也係長





JA女性部園芸部会は、部員の深沢育子さん（上美咲開拓）を講師にフラワーアレンジメントの講習を行い、部員15人が参加した。（写真）また同日、加工部会はうどん・めんつけ講習会を開き13人が参加した。（11/29）



JA青年部は第2回目の営農学習会を開き27人が参加した。初めに金融課・安村貴紀職員からクミカンの仕組みを学んだ。（写真）その後、北海道議会議員の野原薫氏から農政の近況と今後の見通しについて話を聞いた。（11/22）



美咲市グリーンアスパラ生産組合（西川芳勝組合長）は平成30年度の出荷反省会を開き、組合員23人が出席した。反省会後には企画相談課・北藤雪子さんを講師に31年産に向けた栽培講習会を行った。（12/6）



JAは美咲市の2018「子どものいる風景フォトコンテスト」で岸組合長（後列右）が手にする「大好きなお花」にJAびばい賞、また美咲市の高橋幹夫市長（後列左）が手にする「大好物」にラッキースマイル賞を授与しました。（12/1）



JA女性部三役は福亀のしめ飾りをJAと美咲市にそれぞれ寄贈した。JAは常勤席後ろの東壁に飾り付け、市は市立美咲病院玄関に飾った。（12/17、左から板東知子副部长、川田照子部長、岸組合長、谷村清美副部长）



JA女性部シルバー部会（会長・海老田君江）はクリスマス会を開き32人が参加した。美咲市社会福祉協議会から講師2人を招き、ストローを使った輪ゴムリレーなどのレクリエーションを行い楽しく過ごした。（12/7）

射手座



人脈を広げられそう。同じ嗜好（しこう）を持つ仲間たちとの交流も刺激大。集まりには気軽に顔を出して

蠍座



気が低下しやすい。面倒なことを先延ばしして、もっと運を落とす結果に。感謝の心を思い出すと運氣好転へ

役員道外研修

想いも届く！

です。しかし、近年では流通コストの増加に伴い集荷の状況は悪化しているとの事でした。

また、今後はGAP認証を行わなければ売れなくなる可能性もあるとの話をいただきました。GAP認証を受けるにも経費が掛かるので、「GAP認証の取得」ではなく「GAPの実践」を心がけ、いつでも認証を受けられる体制を整えるべきだと思いました。

【アグロカネシヨウ株式会社】

今年度の道外役員研修は、11月13日（火）～15日（木）の3日間で、東京青果株式会社（東京）、アグロカネシヨウ株式会社（茨城）、農林水産省（東京）を訪問いたしました。

【東京青果】
市場の使命は「産地と仲卸業者を結びつけること」なので相対取引を主流とした販売を心掛けているよう

です。しかし、近年では流通コストの増加に伴い集荷の状況は悪化しているとの事でした。

アグロカネシヨウ茨城県結城工場では土壌消毒剤『バスアミド』の製造ラインを見学しました。環境に配慮した工場運営を徹底されておりとても感心しました。また、農薬メーカーでは珍しく土壌分析室を設けているので、収量の良かった土と悪かった土を事前にお送りし分析していただきま

したが、その結果は大差なく「透排水性が要因なので物理性改善と環境整備が増収の第一歩です！」と提案をいただきました。

【農林水産省】

今年も農林水産省米穀課の担当職員と意見交換会を行いました。中でも活発な意見交換になったものが「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」と「稲作のコスト低減施策について」でした。日本の人口減少と合わせて、コメの一人当たりの国内年間消費量も50kg以下に減少しているそうです。

これらを打開するために、農林水産省では必要な消費は確保しつつ、近年人気が高まっている日本米を海外に向け輸出拡大することを戦略として掲げているそうで、新規需要米の交付金対象でもあります。

茨城県の若手水稻農家は「自分たちのコメを海外に輸出している！カッコいい」という感覚から始まり、成功を収めているようです。それに関連して低コスト生産が重要になってくるということで、スマート農業社会を実現するための技術体系を確立する取り組みを支援する『スマート農業加速化実証プロジェクト』が平成31年度から始まるようです。美唄の地では基盤整備が進んでいることから、低コスト生産を実現するには「多収性品種の導入」「直播栽培の導入」「自動航行ドローンを活用した生育管理」が有効なのではないか

と感じました。

今回の研修では、国内最大の青果の流通拠点『大田市場東京青果株式会社』、先進的な土壌分析室を所有し土づくりから提案する農薬メーカー『アグロカネシヨウ株式会社』、今後の日本農政の舵取りを行っている『農林水産省米穀課』。その方々と話が出来たことはとても刺激的であり、北海道農産物の需要の高さ、そして日本米の輸出の可能性について見識を深めることができました。今後はこの研修で身につけたことを盟友にも発信し、日常の中でも可能性を追求した営農に励みたいと思います。



農水省米穀課での研修の様子



東京青果での研修の様子



アグロカネシヨウで真剣な表情で話に聞き入る役員



この記事は、部長・加藤雅樹（北
美唄）が担当しました。



定例理事会

12月14日

《報告》

- ①平成30年11月末現在、業務財務報告
- ②常務委員会報告
- ③農家経済改善対策委員会報告
- ④JAびばい農場活用推進委員会報告
- ⑤平成30年度決算推定報告
- ⑥その他

- ⑦平成30年度第Ⅲ・四半期末監査意見等に対する回答について
- ⑧JAにおける「持続可能な事業運営のあり方」検討について
- ⑨平成30年度自己査定に係る不動産評価基準の設定について
- ⑩大口貸出先且つ特定組員に対する資金の貸付について
- ⑪特定組員に対する資金の貸付について
- ⑫平成29年産主食用米の共計追加精算について
- ⑬平成29年産新規需要米の最終精算について
- ⑭平成30年産新規需要米の最終精算について
- ⑮平成30年産特定米穀の精算について
- ⑯「らいす工房」調製米穀の精算について

臨時理事会

12月21日

《報告》

- ①農家経済改善対策委員会報告
- ②特定組員のクミカン収支見込み報告
- ③その他

- ④平成29年産国内麦流通円滑化特別対策事業交付金の支払および規格外小麦の最終精算について
- ⑤平成30年産普通小麦の追加概算金について
- ⑥平成29年産大豆の最終精算について
- ⑦平成30年産なたねの精算について
- ⑧平成30年産共計玉葱の概算精算について
- ⑨平成31年度「らいす工房」利用料金の改定について
- ⑩年度末手当の支給について
- ⑪その他

- ⑫平成30年度経営所得安定対策交付状況報告
- ⑬平成31年度営農計画書審査日程報告
- ⑭平成30年度農地耕作条件改善事業実施状況報告
- ⑮平成31年作付意向調査報告(12月)
- ⑯平成30年産米・大豆集荷状況報告
- ⑰生産施設操業状況報告
- ⑱経済事業業況報告
- ⑲その他

…全議案承認

…全議案承認

《その他報告事項》

- ①平成30年度経営所得安定対策交付状況報告
- ②平成31年度営農計画書審査日程報告
- ③平成30年度農地耕作条件改善事業実施状況報告
- ④平成31年作付意向調査報告(12月)
- ⑤平成30年産米・大豆集荷状況報告
- ⑥生産施設操業状況報告
- ⑦経済事業業況報告
- ⑧その他



読まずには
いられない!
新10連載
スタート!!



12月号の誌面を大幅リニューアル!

フリー特集を毎月3本

手芸・健康の
ミニ特集を
毎月掲載!

年6回別冊付録付き



協同や助け合いのたいせつさを
伝える記事、
JA自己改革関連記事なども

料理記事は
ばつと
見やすく



※タイトル・内容は変更
することがあります。

をぜひご購入ください!

ご購入またお問い合わせは…JAびばい企画相談課 TEL (0126) 63-2165

モナ・カサンドラ【プロフィール】 占いを学術的に解析する「ルネ・ヴァン・ダール研究所」の研究生となり、占星学のロジックを徹底的に解説・探求。コンピュータによるホロスコープ作成の道を開いた。現在は執筆活動を始め、さらなる占星の研究を重ねている。
ルネ・ヴァン・ダール研究所 <http://www.rene-v.com/>



いろいろ考え過ぎてしまうもよう。鏡の前で笑顔を作り、気分を上向かせましょう。リラックスには足湯がベスト

JAグループ通信

発信元:JAグループ北海道第30号

JA北海道
中央会

次世代の大規模農業経営者の育成を目的とした「北海道アグリフードプロジェクト・アカデミー(農業経営塾)」の第3回講座が、受講生10名の参加のもと、11月29日・30日の両日、札幌市内で開講されました。

今回は「人づくり・組織づくり」をテーマに組織開発、労務管理の基礎知識を専門家から学びとともに先進事例の紹介もあり、研修のまとめとして、受講生各自が「夢の農業経営」を実現するための「働き方改革実行宣言」を行いました。



ホクレン

全道のホクレンSSで展開した「2018 ラブ&ハートチャリティキャンペーン」に寄せられた募金と、売り上げの一部を合算した総額300万円を、北海道社会福祉協議会へ寄託しました。当キャンペーンは、ホクレンの社会貢献活動「HOKUREN SEEDS PROJECT」の一環として実施しており、道内の児童保育施設約810箇所、絵本などの購入費用として使用いただく事となっております。



JA北海道信連

11月に農業経営者支援の一環として、今年で8回目となる「農業経営フォーラム」を札幌で開催しました。当日は、(有)トップリバーの嶋崎代表取締役「トップリバー流の人材育成」を、志ネットワークの上甲代表に「いま経営者に求められるもの～松下幸之助の人づくり～」をテーマに講演頂きました。参加者からは、「人材育成の重要性を理解できた」、「人としてあるべき姿を教わった」など好評を頂きました。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



JA共済連北海道

12月24日(月)から1月20日(日)まで、さっぽろ地下歩行空間に、「アンパンマン×こども共済」の巨大壁画広告(全長14.5m)を掲出します(写真はイメージです)。

一般のママ達を選ぶ「マザーズセレクション大賞」を受賞した「こども共済」を年末・年始にかけ全道から札幌へ訪れる方々へPRいたします。札幌にお越しの際は、ぜひ地下歩行空間でご覧下さい。

(画像はイメージです。)



こよみ・行事

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

11日◎建国記念日

13日◎女性部生活作品展
◎信用事業リスク
管理強化委員会

14日◎企画会議

15日◎定例理事会

18日◎臨時企画会議

21日◎臨時理事会

25日◎全国監査機構決算監査
(3月1日迄)

26日◎女性部通常総会

平成30年度 JAグループ北海道

「ICT導入応援事業」の事業申請等について

●事業内容

GPSガイダンス装置・自動操舵装置を同時に取得する者に対して、JAを経由してGPSガイダンス装置・自動操舵装置の導入費用助成を行う

●助成内容

《助成対象機械》①GPSガイダンス装置 ②自動操舵装置
※①②を同時に取得する場合のみ対象

《対象者》農業者、農業法人等

《助成額》20万円以内(1経営体あたり1回限り)

《H30年度事業額》5千万円

●事業実施期間

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの1年間

※上記期間に助成対象機械を購入した農業経営体が対象

●募集期間

平成31年4月1日より平成31年4月30日までの1ヶ月間

★対象機械を購入された方は事前に下記期日までにご連絡下さい★

◎期日:平成31年3月31日 ※戸別に対応させていただきます。

事業申請は平成31年4月以降になります。

JAびばい企画相談課(担当:森) TEL (63) 2165

J A の 概 況

<12月末>

○皆さんの貯金	25,365,635千円
○皆さんへの貸出金	4,794,688千円
○皆さんの出資金	712,270千円
○組合員数	(正) 806人 (准) 3,873人 (計) 4,679人

美唄市農協生活改善
運動推進協議会

お悔やみ申しあげます

東明

▼深尾 正美さん
(九十歳)

十二月七日死去

開発

▼要 覚 辰 雄さん
(九十歳)

十二月二十四日死去

上美唄

▼長谷川 邦夫さん
(八十二歳)

十二月二十八日死去

癸巳

▼小 林 恵美子さん
(八十九歳)

十二月二十九日死去

編 集 後 記

J A が空知総合振興局へ「福亀」のしめ飾りを寄贈して昨年で11年になりました。

7年前に「福亀」のしめ飾りを作っていた女性部上美唄開拓支部で取材したことがあります。

亀は大きさにかかわらず1つ2時間かかり、しめ飾りは一日に3個を仕上げるとのことでした。また「亀の甲羅の丸みをつけるのが難しい。稲わらに含ませる水分と木槌などで叩く加減が大切」と伺いました。取材した時には10人で作っていたらしいいまは3人で作っているそうです。

この素敵な「福亀のしめ飾り」作りがこれからも続くよう頑張っていたきたいと思います。



退職のご挨拶



前企画相談課審査役

森 浩和

厳寒の候、組合員の皆様には益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

私こと、この度1月末日をもちまして、美唄市農業協同組合を早期退職させて頂きました。顧みますと、昭和56年3月に奉職し、38年余りの長きに亘りまして、組合員の皆様はじめ歴代役員の方々並びに関係機関の皆様には温かいご支援とご指導を

賜り、大過なく職責を終える事が出来ました事に衷心より感謝とお礼を申し上げます。

私は、農協のご配慮により嘱託職員として引き続き勤務させて頂く事になりましたので、宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が豊稔の秋を迎えられます事と組合員皆様のご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。ありがとうございました。

退 職 者

▼農業振興部企画相談課 飯田順三 (嘱託職員)

平成31年1月31日付

2019年 春の 作業着展示即売会

2月12日(火)~13日(水)

Aコープびばい店は、JA管内全域対象に春作業の準備をお手伝いする「作業着展示即売会」をコア店で開催します。

大特価の商品や定番の商品などを多数、取り揃えて組合員みなさまをお待ちしております。



- 開催日 平成31年2月12日(火)~13日(水)
- 会 場 コアビバイ内ヤマヤ薬局隣り
- 時 間 12日…10時~17時
13日…10時~16時